

平成21年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 34

学校名 千葉県立船橋法典高等学校

課程名 全日制の課程

領域	重点目標	具体的な方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校経営	1 校内での教育活動を積極的に公開し, 地域から信頼される学校づくりを目指す。	ホームページの内容を刷新し, 定期的に更新する。 開かれた学校づくり委員会やミニ集会等において, 活動内容を紹介するとともに, 意見や要望を聞く。	ホームページの掲載内容と更新状況 開かれた学校づくり委員会及びミニ集会の開催状況, 参加者に対するアンケートの実施
	2 P T A活動を活性化し, 学校の総合的評価向上に資する。	P T A理事との連絡を密にし, 各P T A委員会活動の活性化に努める。 P T A総会及び理事会が, 文字通り保護者全体の意思決定の場になるようその運営に当たる。 地域住民から寄せられた声に, 真摯に耳を傾け可及的速やかな対応に努める。	各理事のP T A委員会の参画状況, 及びその活動状況の把握 P T A総会の参加状況, 特に前年比での増減数の把握 地域住民から寄せられた意見や要望の把握, ミニ集会等での発言内容の分析・把握
	3 適正で効率的な財産管理と公金の扱いに努める。	予算要求の内容を精査し, 効果的な配分及び執行を行う。	各教科の指導計画に基づいた教材・教具等の充足状況
学習指導	1 基礎・基本の定着を図り, 授業の工夫・改善に努め, 分かる授業の確立を図る。	生徒の学力に適した教材の精選・開発・活用に努める。 説明・板書・発問など工夫し, 集中した授業ができるように努める。	生徒による授業評価アンケートの結果 定期的な授業公開の実施, 保護者・教員による授業参観と授業評価アンケートの実施, 校内研究授業・研修会の実施回数とその状況
	2 主体的な学習態度を養い, 学業生活を充実させる。	「さわやか朝自習」を効果的に実施する。	確認テストの結果, 漢字検定の合格状況, 百人一首大会の開催状況, 読書活動の状況など
生徒指導	1 生徒指導の機能を教育活動全般に浸透させ, 基本的生活習慣の確立に努める。	家庭との連携を密にし, 前年度より出席率を向上させる。 遅刻回数を減らすために, 月に10回以上遅刻した生徒への指導を徹底する。	月ごとの欠席者数 毎日の学校全体の遅刻者数
	2 定期的な頭髪・服装の指導を実施し規範意識を育てる。	頭髪・服装に係る全校一斉指導を年間指導計画の中に位置づけるとともに, 各学年による頭髪指導にも重点をおき, 一斉指導前に改善指導対象者が減少するよう努める。	全校一斉指導の実施状況, 各学年による頭髪指導の対象者及び改善指導対象者の把握
	3 夢の実現に向けて, 前向きに学校生活に取り組めるよう, 精神的な自立を涵養する。	生徒指導に関する本校の「新しき良き伝統」を継承しつつ, さらに発展させる。 クラスの枠を超えた班活動や係活動を行い, 自主性と責任感を養う。	生徒指導に係る学年集会, L H R等の実施状況 班活動や係活動の実施状況と生徒の感想

	4 コミュニケーション能力を高め、相手を思いやる心を養う。	個々のコミュニケーション能力を測るために、TK式バッテリーテストを実施し、生徒の現状を把握するとともに、個人面談を行う。 修学旅行の中で、民泊を実施する。	テストの実施結果、 <u>生徒理解のための工夫・取組の状況</u> 修学旅行終了後の生徒の感想や民泊先の方からの感想
キャリア教育	1 生徒の進路意識の向上を図る。	進路に関する面接や個別指導の充実に努める。 進路説明会・ガイダンス・インターンシップなどを実施し、職業観や勤労観の育成に努める。 進路ニュースを発行し、情報を提供するように努める。	面接指導・個別面接の実施回数とその状況 <u>進路説明会・ガイダンス・インターンシップの実施回数、参加人数、活動状況</u> 進路ニュースの発行回数とその状況
	2 教育活動の成果を集大成して3年生一人一人の進路実現を図る。	進路意識を高めるために、大学等の説明会や企業訪問等へ積極的に参加させる。 LHRや法典タイム(総合的な学習の時間)を使つての進路学習を充実させる。 個別指導を行い、進路決定率を向上させる。	大学等の説明会や企業訪問等へ参加状況 進路学習の実施状況 個別指導の状況、進路決定者数
特別活動等	生徒会活動や部活動を通して、生徒の自主性・社会性を育てる。	生徒会本部が中心となって、文化祭の質を向上させるなど、学校行事の活性化を推進する。 過半数の生徒が部活動に所属し、積極的に活動できるよう、各学年と連携して指導する。 高校生のボランティア活動を推進するため、活動を休止していたボランティア同好会を復活させ、生徒会役員が率先して加入・活動するよう指導する。 近隣の県立船橋特別支援学校との交流活動について、具体的な計画を立て、継続的な取組を行う。	文化祭など学校行事実施後のアンケート調査 部活動の活動状況及び加入率 ボランティア同好会の活動状況と会員数 交流活動の状況と参加生徒数
特別支援教育	特別な支援を必要とする生徒をはじめ、すべての生徒へのきめ細かな対応を心がけ、生徒一人一人を大切にしている学校を目指す。	文部科学省の高等学校における発達障害支援モデル事業における実践的研究や教材開発等を行う。	平成21年度のモデル事業に係る協力者との協議会、特別支援教育校内支援委員会及び研究・モデル事業推進委員会の開催状況